

RPPC メールマガジン 第 768 号

リサイクルポート推進協議会（平成 31 年 3 月 27 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表はありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

H31 年リサイクルポート推進協議会年次総会の日程と会場が決まりました。[再掲]

- ・日時：平成 31 年 6 月 4 日（火）
- ・会場：第一ホテル東京シーフォート 3 階ハーバーサーカス

<https://www.hankyu-hotel.com/hotel/dh/dhtseafort/access/>

■リサイクルポートに関する最新の情報

1. 山形県が酒田港の中長期構想まとめ。鉄スクラップの効率的輸送等
2. 横浜港、30年のコンテナ取扱304万個
3. 福山港のふ頭再編改良事業に着手、産業の国際競争力強化へ

=====

◆リサイクルポートに関する最新の情報

1. 山形県が酒田港の中長期構想まとめ。鉄スクラップの効率的輸送等

山形県は酒田港中長期構想をまとめた。20～30 年先を見据えた酒田港の将来像や将来目標、長期的な港湾整備の方向性、空間利用のゾーニングなどを示している。今後は港湾計画改訂に取り組み、今年 9 月の山形県地方港湾審議会、11 月の交通政策審議会港湾分科会の審議を経て改訂していく。

酒田港中長期構想の施策では「国際ターミナルの機能拡充」として、増加するコンテナ貨物に対応するため、物流関連施設等の整備促進と国際ターミナル機能の拡充を図る。

「岸壁利用の効率化」では、クルーズ船の寄港やバルク貨物（バイオマス発電燃料）の増加に対応したふ頭利用の見直しや新規岸壁の整備により効率化を図る。

また「鉄スクラップ資源の輸出の効率化」として、鉄スクラップ輸出先の遠隔地化・多様化に対応するため、日本海側のリサイクルポート間で連携して鉄スクラップの効率的な輸出を目指す。

.....

2. 横浜港、30年のコンテナ取扱304万個

横浜市港湾局は、横浜港の港勢をまとめた。平成30年の取扱貨物量は外内貿合計1億1376万トン（前年比0.2%増）で、2年連続で増加。コンテナ取扱個数は外内貿合計304万個（3.7%増）で、2年連続で増加となり、平成24年以来6年ぶりに300万個を超えた。

コンテナ取扱個数（TEU）は外貿コンテナが好調で、272万個（3.9%増）と3年連続増加した。輸出は145万個（3.7%増）で、主な増加品種は自動車部品、産業機械など。輸入は127万個（4.1%増）で、主な増加品種は衣服・身廻品・はきもの、産業機械など。

外貿コンテナのうちトランシップコンテナは13万個（14.8%増）と、3年連続増加した。28年下半期から増加傾向に転じ、29年以降は年間10万個を上回っている。

内貿コンテナも堅調に推移し、31万個（2%増）と2年連続増加した。

.....

3. 福山港のふ頭再編改良事業に着手、産業の国際競争力強化へ

中国地方整備局広島港湾・空港整備事務所は、福山港のふ頭再編改良事業に着手した。

福山港のふ頭再編改良事業は箕沖地区、箕島地区において、船舶の大型方に対応しふ頭の改良・新設などを進めていく。中国地方整備局と広島県は3月9日、「福山港ふ頭再編改良事業」の着工式典を開催した。

同着工は箕沖地区岸壁背後のブロック製作ヤードの整備を対象とした内容。広島港湾・空港整備事務所ではこれを機に、関係機関と調整をした上で岸壁整備にも着手していく。現状は両地区とも岸壁の基本設計作業中で、協議が整えば31年度予算をまって実施設計等へと進め、現地に入っていく予定。

【港湾空港タイムス3月25日号から編集】

////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。